発注し、

29年3月の完成

を目指しています。

新病院は60床の規模

廊下、

外来の待合室

況や、

規模・特徴は。

新病院の建設進行状

現在、

敷地造成と実

算の審査を行いました。 員長、山崎邦廣副委員長)を設置 し、9月9日に各会計の26年度決 主な質疑の内容をお知らせしま 決算特別委員会(山岸はる美委

탉

調査の内容は町屋の利活用

町屋の利活用に関す

査です。 利活用方法を検討する調 る調査業務の内容は。 本町を訪れる観光客の 新町地区の、 町屋の

掘り起こしの調査を行い 町屋の価値や誘客資源の 町場滞在を促すために、

今後の計画は 対草地の除染

ました。補助事業が継続 実績と今後の見通しは。 クタールの除染を行い 26年度までに424 確実

除染を実施できる面積 困難な場所があるため、 傾斜地などで除染作業が 00ヘクタールですが、 ルと見込んでいます。 約1000ヘクタ

牧草地の除染事業の

に行います。 される28年度まで、 除染の計画画積は20

向検 上診 対受 は率

各種検診事業の受診



目的に、 資料の提供や生活習慣病 率を向上させる対策は。 ています。 意識を高めることに努め 予防の研修会を開催し て、町民の皆さんの健康 検診受診率の向上を 病気に関係する

建設の計画は



答 若い方を町外から受 入れるための住宅を、

本年度、定住促進住宅



ー事業の実績は。 農業後継者等パ

婚支援の活動を行ってい 立ち上げ、

開催しました。25・26年 事情についての講演会 が誕生しています。 **度に、一組ずつカップル** してのワインパーティ

昨年度の実績はパートナー事業

22年12月に協議会を 独身男女の結

26年度は、 出会いと交流の場と 現代の結婚 を

活動の状況は遊休農地解消

遊休農地解消のため

の活動状況は。

です。 面積4225ヘクター ヘクタールで、 に占める割合は 遊休農地面積は46 町の農地 % ル

機構」などが貸借の調整 を行い、遊休農地の解消 整を行う「農地中間管理 向を確認して、 に努めてい 遊休農地の所有者の意 農地の調



牧草地の除染作業の様子(吉ヶ沢地区)

ますか。 後も増築する計画があり 町有住宅などを、今

考えです。 町内の各地域に整備する

た。五日市地区は現在建 を中村地区に整備しまし

新たな水道管を設置(江刈馬渕地区)

に入る設計にします。 を廃止して、直接診察室 ように、外来の中待合室 心して診察を受けられる

進 新 行 病

状院

況建

は設

別 計 会

施設計の作成を進めてい

12月に本体工事を

工事の状況は江刈簡易水道 水建 道設

江刈簡易水道整備工

の導入による、整備の状

水洗化普及支援事業

備する計画です。

各病室

スペースや病室を広く整

を全館に完備します。

安

事の進行状況と、

今後の 8

今後も事業を継続できる を目標にしているため 化率 (77.8%) ように内部で調整を進め

指して、計画どおり工事 を進めています。 30年度中の完成を目

所を整備する考えです。 道など老朽化している箇 完成後は、馬淵川簡易水 江刈簡易水道整備事業

業洗 効化 果支 は援

況や事業効果は。 加しました。 上昇して、50・9%に増 町の水洗化率が1・3% た。事業の推進により、 事業の活用がありまし 26年度は27件の補助

> 事業」の新設により、衛 では、「水洗化普及支援

町では、県平均の水洗 の達成

(要約)

鈴木 議員

部分を解消するために、 「安心して住み続けられ の立場から討論します。 算を認定することに賛成 と特別会計の歳入歳出決 る町づくり」のための施 の中で不安に感じている 26年度は、町民が生活 26年度一般会計

生的で快適な生活環境の 保育料軽減措置が拡充さ 接種助成や多子世帯への 整備に努めました。 きる環境づくりにつなが 子育て分野では、予防 安心して子育てがで

新病院の建設も着実に

事業執行に万全を期すよ を担う施設であるため、 と生命を守る大きな役割 進みはじめ、 町民の健康

期待します。 巻型酪農構想」 盤強化が図られるものと う望みます。 により町の酪農全体の基 れ、今後は構想の具体化 産業振興では、「新葛 が策定さ

別会計は、各種事業が効 たことを、 率的・効果的に執行さ 26年度の一般会計と特 高く評価しま れ

策を推進しました。

町民生活に身近な部分

組みを継続し、 発展が図られることを期 種施策のさらなる充実、 など町が取り組むべき各 今後もこのような取り 地方創生

反対討論なし